

第96回定時社員総会議事録

一般社団法人 海洋会

1. 日 時 平成28年6月17日（金） 16:00～17:15
2. 場 所 東京都千代田区麹町4-5 海事センタービル8階会議室
3. 議 案
第1号議案 平成27年度事業報告並びに決算報告について
第2号議案 平成28年度事業計画案並びに収支予算案について
報告事項 平成28年度特別会員の推薦について

4. 出席者（50音順、敬称略）

社 員

池上 二郎	井手 祐之	稲石 正明	岡本建之介	奥野 健司
門野 英二	神谷洋一郎	河原 健	神田 一郎	岸本 宗久
清田 裕洋	小暮 晶一	小島 茂	塩崎 雅敏	杉山 桂
鈴木 三郎	高瀬 敏一	武田 和彦	百目鬼 健	豊田 耕治
成毛 克彦	根本 正昭	橋本 進	平山 誠一	藤井 照久
松崎 光男	宮野 義広	武藤 宏二	森本 靖之	矢野 経征
山谷 周二	山本 勝			

監 事

長嶺 裕二

オブザーバー

国土交通省海事局海技・振興課船員教育室長 村松 智司

5. 審議の結果

(1) 開会の挨拶

はじめに会長から以下の通りの挨拶があった。「本日はご多忙のところ、また遠路ご出席戴き有難う御座います。議題は予め会誌「海洋」5月号にてご案内した通りです。本日は第96回定時社員総会議案書をお手元に用意しております。これから円滑に議事が進行するよう、御協力の程宜しくお願い致します。本日は国土交通省海事局海技・振興課 船員教育室長 村松智司様には、オブザーバーとしてご出席戴いておりますことをご紹介します。村松室長には、議事終了後ご挨拶を賜りたいと思います。」

(2) 議長の選出について

議長選出について定款第21条の規程により会長一任を取り付け、出席社員の中から高瀬敏一氏を指名し承認された。

(3) 定足数及び議事録署名人

事務局から、本日の総会は社員総数91名のところ出席者31名、委任状50名、合計81名で定款20条の規程により本社員総会は成立していること、並びに長嶺監事が出席していることが報告された。

（注：第1号議案を審議している途中で、社員2名が参加し出席者は33名になった）

次に議長は、定時社員総会の議事録署名人について、社員の中から池上二郎氏及び小暮晶一氏を指名し了承された。

(4) 議案の審議について

配布資料の確認後、議案の審議に入った。

第1号議案 平成27年度事業報告並びに決算報告について

事務局から配布資料に基づき、次の事項について説明があった。

- ① 平成27年度事業報告について、事業及び会務の執行状況を報告した。
- ② 平成27年度決算報告について、貸借対照表、収支計算書、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表及び財産目録の主要科目決算状況について説明を行った。

引き続き、監事を代表して長嶺監事から「平成27年度における貸借対照表、収支計算書、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表及び財産目録並びに会の業務執行状況について、5月10日海洋会本部において桑田監事代理と私長嶺裕二が監査したところ、何れも適正であることを確認したので、此処に御報告致します」との発言があった。

(質疑応答)

質問：昨年度の正会員数を説明して下さい。

回答：議案書P6の4. 会員数の表に示した通り、平成26年度（平成27年3月31日現在）の会員数は4,276名でした。

質問：同じく議案書P6の(4) 財政上の諸対策 i) 増収対策③会費の長期滞納者へ督促状送付した。平成27年度は4年間(9,600円×4=38,400円)以上滞納している2番会員に対して督促状を送付した結果、46名から742,400円の会費が納入されたとあるが、単純計算すると1,777,400円(=38,400円×46)となる。これは支払って貰う金額については各自の裁量に委ねたと云うことか。

回答：その通りです。

質問：議案書P16-17の正味財産増減計算書を見ると、平成27年度中に約5,942万円減少しているが、その内訳として3,200万円の寄附を除く約2,782万円の減少は、平成28年3月31日現在の公社債の評価損がこの金額に該当するということか。

回答：その通りです。決算を行う上で海洋会が保有する公社債の時価評価額を算出して評価損を計上している。一方、この公社債からの運用益(利子・配当)が約1,619万円出ていることが議案書P16(1)の経常収益で読み取ることが出来る。

その後、議長が本議案について賛否を諮ったところ、全員異議なく本議案は承認された。

第2号議案 平成28年度事業計画案並びに収支予算案について

事務局から配布資料に基づき、次の事項について説明があった。

- ① 平成28年度事業計画案について基本方針、事業及び会務の主要事項について説明した。
- ② 平成28年度収支予算書内訳表案について、主要収支科目の積算内容及び前年度との対比
- ③ 議案書P32収支予算書(資金収支)の末尾にある前期繰越収支差額が空欄になっているが既に平成27年度収支計算書(P15の末尾記載)の次期繰越収支差額12,549,493円が承認され確定したので、次期繰越収支差額12,549,493円をここに記入して戴ければ、P32末尾記載の次期繰越収支差額は12,972,396円となる。

- ④ 山本会長は議案書 P29 (7) 母校との交流強化並びに支援の継続について補足説明を行った。
「私は、海洋1月号の年頭挨拶で海洋会の顔がより学生から見える様に海洋会活動を強化していきたいと述べたが、此处で挙げた項目(特に④⑤⑥項)は、そのことを具体的に進めるためのものである。また、新入会員確保に向けては、今年度より「准員制度における准員権利保有期間の改訂(会費2万円→1万円/期間8年→4年)」を行った。神戸大学海事科学部については、内田学部長より海洋会による大学内での学生への勧誘活動に同意を頂いた。勧誘活動の具体的な方法と時期については神戸支部長が中心となり大学担当社と協議し執り進めて行くことになっており、結果を期待している。」

(質疑応答)

指摘：議案書 P29 の上段より3行目の「平成29年度3月に寄付します」を「平成29年3月に寄付します」に訂正すべきです。

回答：御指摘の通り訂正する。

その後、議長が本議案について賛否を諮ったところ、全員異議なく本議案は承認された。

報告事項：平成28年度特別会員の推薦について

各議案審議終了後、事務局から平成28年度特別会員11名の推薦について報告を行った。

最後に国土交通省海事局海技・振興課船員教育室長 村松智司様からお祝辞を頂いたほか、国交省の最近の動きとして、4月1日付で海技教育機構と航海訓練所の統合がなされ、新生海技教育機構として学校8校、練習船5隻を有する国内最大の船員教育機関としてスタートしたことの説明を頂いた。

議長は17時15分に閉会を告げた。

平成28年6月17日

第96回定時社員総会 議長

高瀬 敏一



本定時社員総会に出席し、議事録の通りであることを認める。

議事録署名人

池上 二郎



議事録署名人

小暮 晶一



(配布資料)

第96回定時社員総会議案書

- ①平成27年度事業報告書並びに決算報告書について
- ②平成28年度事業計画書案並びに収支予算書案について
- ③平成28年度特別会員の推薦について